

研修名	自殺未遂者支援者研修（高齢者編）「高齢者の自殺未遂者にどうかかわるか」
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師
開催日時	令和4年11月3日（木） <基礎編> 10:00～12:00 講義 ～高齢者の自殺予防の基礎知識～ <実践編> 13:00～15:30 事例紹介 ～事例から学ぶ高齢者ケアのポイント～
開催方法	Webex Meetings を用いたオンライン研修
参加者数	基礎編：18名／実践編：14名 ＊職種内訳：保健師、看護師、精神保健福祉士、心理職、介護支援専門員、高齢者施設職員、医療関係者等
研修の内容等	<p>長年、医師として自殺未遂者支援に従事されている衛藤暢明先生にご講義いただきました。基礎編では、自殺予防に関する基礎知識を学び、実践編では、参加者にも意見を聞きながら、事例を通じた演習を行いました。苦しさを抱える人々の背景に目を向けること、自殺再企図のリスクを過小評価しないことの大切さを改めて感じる研修でした。来年度も若者編、高齢者編ともに実施を検討しておりますので、ぜひご参加ください。</p> <p style="text-align: right;">（北九州市立精神保健福祉センター職員より）</p>
参加者の声	<p><<たくさん感想をいただきありがとうございました！一部をご紹介します。>></p> <p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺念慮や自殺企図に至った高齢者が、いかに自殺以外の死（病死、自然死など）を目指すかという観点を持つ必要があると感じた。 ・高齢者が自殺企図に至る過程の中で、支援者としての介入方法について理解できた。 ・自殺企図者への支援を他の職種から心理職に求められるが、介入のポイントを多職種で共有し、協働して対応していくことが必要。 <p>【実践編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例を「SAD PERSONS スケール」を使って具体的に検討し、「SBAR」の流れで精神科医に未遂者情報を適確に伝えるという演習ができたことが大変勉強になった。 ・未遂者情報の伝え方、医療への繋ぎ方の具体例を学んだので、今後活かしていきたい。